

EX-PRESS

Extra, EXpert and EXtreme

2006 Vol.

6



JSB 1000
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

Photo by H.Wakita/Y.Harada(c)

渡辺篤、秋吉耕佑のヨシムラが予選を完全制覇 伊藤真一は4番手からタイトル防衛を狙う!

すっかり秋の色に染まった岡山国際サーキットで、全日本選手権第6戦が始まった。ここまで5戦、優勝2回、2位2回の伊藤真一(KEIHIN Kohara RT)と、優勝は1回ながら、安定して上位入賞を果たしている渡辺篤(ヨシムラスズキwithJOMO)の二人が、わずか3ポイント差のタイトル争いを展開している。ランキング3位には渡辺のチームメイト、秋吉耕佑(ヨシムラスズキwithJOMO)が着けているが、伊藤との差は26ポイントあり、残り2戦ではその差は大きい。タイトル争いは伊藤と渡辺の二人によるガチンコ勝負と言っていいだろう。

秋晴れの下、JSBクラスの予選は1時間の1本勝負という長丁場でのタイムアタックとなった。1時間の走行時間は、グリッドを決めるタイムアタックだけでなく、決勝のためのテストに使うこともできる。前日に行なわれたフリー走行では、今年からチームを移籍し、事実上ヤマハのトップライダーとなった中須賀克行(YSP&PRESTOLレー

シング)が好調で、非公開ながら全体のトップタイムをマークしていた。その中須賀が予選開始早々の5周目、1分29秒996というコースレコードタイムで、リーダーボードのトップに立った。直後にパイパーコーナーの転倒で赤旗が出され、予選は一時中断される。この時点で中須賀に続いて1分30秒台をマークしたのは渡辺、山口辰也(ホンダドリームカストロールRT)、伊藤、秋吉の4人。10分ほどで赤旗が解除され予選再開されたが、中須賀はコース上には出ず、走行準備をしたまま、ヒット前で待機している。1時間の予選時間は長く、こういった駆け引きも行なわれるのだ。

予選時間が半分ほど過ぎたころ、31秒台での走行を続けていた秋吉がタイムアタックに入った。14周目、1分29秒778を叩き出した秋吉がトップに躍り出る。これを見た中須賀はコースイン、タイムアタックを始めるが、29秒841で秋吉のタイムをわずかに上回ることができない。これをきっかけに、各車、タイムアタックに入り、渡辺が29秒

631をマーク。秋吉のコースレコードタイムを塗り替え、ポールポジションに王手をかけた。その後伊藤も自己ベストの29秒台に入れるものの、わずかに及ばず4番手。いつもならばここからチェッカーまでの2、3周がタイムアタックのピークになるはずだが、決勝出走台数を越える42台の予選となった今回、ほぼ全車がこの時間にコースインしたためにコースが混み、上位陣はこれ以上タイムを詰めることができなかった。そのまま渡辺がポールポジション、秋吉が2番手に着け、ヨシムラがワンツー、金曜から好調の中須賀が3番手、フロントロウの最後はディフェンディングチャンピオンの伊藤が入った。この4人が従来のコースレコードを破っている。

伊藤vs渡辺のタイトル争いだけでなく、数台のトップ争いによるエキサイティングなレースが予想される。

[青木 淳]



MFJ SUPERBIKE
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

楽しみ方いろいろ。
MFJ SUPERBIKEの情報満載

2006年もGAORA(CS放送)で全戦放映!!
地上波ローカルTV局ではダイジェストを放映!
レース速報はMFJオンラインマガジン mfj.or.jp
情報満載のファンサイト superbike.jp へ!!

TIME TABLE Rd.6 OKAYAMA

10:00 -	GP-MONO 決勝レース 10Laps
10:45 -	GP125 スタート進行(選手紹介)
11:00 -	GP125 決勝レース 18Laps
11:55 -	ST600 スタート進行(選手紹介)
12:10 -	ST600 決勝レース 18Laps
13:05 - 13:50	ピットウォーク
14:05 -	JSB1000 スタート進行(選手紹介)
14:20 -	JSB1000 決勝レース 25Laps
15:25 -	GP250 スタート進行(選手紹介)
15:40 -	GP250 決勝レース 20Laps

※上記タイムテーブルは、変更されることがあります。

今回も驚速ぶりを発揮した酒井大作 4メーカーがひしめく大混戦!



毎戦コースレコードが更新される激しい予選が繰り広げられているST600クラス。岡山国際サーキットのコースレコードは、一昨年に酒井大作がマークした1分34秒668だった。昨年は、予選が雨となったためコースレコードの更新は、なかった。それだけに、金曜日からの好天に恵まれた今回は、必然的にコースレコードが記録される条件が整っていた。どこまでタイムが縮まるかが予選の見どころだった。

かくして予選1回目からコースレコードが次々

に記録され、予選2回目には、A組の渡辺篤が真っ先に1分33秒台に突入する1分33秒929をマーク。これをB組の酒井大作が1分33秒544という驚異的なタイムで上回り、酒井がポールポジションを獲得した。

「ここまで(タイムが)出るとは思わなかった。午前中のセッションでクリアラップが取れなかったから、うまく走り切れれば、1分33秒台に入ると思っていた。ポールポジションが取れたけれど、レースは、また別。みんな速いし自分にアドバンテージがある部分を見つけて勝負したい」と酒井。

2番手につけた渡辺は、JSB1000でポールポジションを獲得しており両クラスで絶好調だ。

「33秒台の前半を狙っていたけれど、33秒台に入ったら引っかけってしまった。2クラスでチャンピオン争いができていることは、プレッシャーもあるけれど、こんなチャンスは、そうそうないからね。楽しみの方が上回るし、モチベーションになる」と渡辺。

3番手には、新垣敏之がつけ、渡辺とタイトルを争う大崎誠之、安田毅史と続いた。

今回も8人がコースレコードを更新。決勝は、酒井、渡辺がレースを引っ張り、安田、大崎がついていく展開となるか!? 新垣の存在も気になる。寺本幸司、辻村猛もトップ争いに加わってくる可能性は高い。トップ争いは、もちろん、タイトルの行方も気になるところだ。

[佐藤 寿宏]

写真(上):酒井大作 (下):渡辺篤

初の全日本タイトル獲得を目前とした横江竜司 全勝阻止を狙うライバル勢!!



2006年の全日本選手権はここ岡山国際サーキットでのレースを含めて残り2戦となったが、最大の焦点は開幕から負け知らずの4連勝を遂げ、チャンピオン獲得を目前としている横江竜司のレースだ。横江が岡山で5勝目を挙げてもライバルの成績次第ではタイトル確定が最終戦に持ち越されるが、圧倒的に優勢な立場であることは間違いない。

横江は「バイクから降りている時は「転ばないように確実に走らなきゃ」と考えてしまいますが、

走り出せばそういうことはなくなります。まだ残り2戦ありますし、プレッシャーも感じていません」と語り、その表情には余裕が感じられる。そして横江は予選終盤のアタックで、驚異的なバンク角が生み出すコーナーリングスピードを武器に2位以下を0.6秒上回るラップタイムをマークしてポールポジションを獲得した。

対するライバル勢は「横江を止めないと」と声を合わせる。予選2番手となったラタパー・ヴィライローは「今回は思っていたよりタイムが出ない。でも横江さんに勝ちたい」と横江の全勝阻止を狙う。3番手の及川誠人も「フロントのチャタリングが消せない。でも1回くらいは横江を止めないと」と志は同じだ。4番手はダンロップ最上位の宇井陽一で「予選では1発狙いではなく、コンスタントにタイムが出るようにバイクを仕上げました。残り2戦でダンロップさんに今期初優勝をプレゼントしたい」と鼻息は荒い。予選5~6位の若き2人のルーキー、濱本裕基と山崎郡はホームコースの岡山で真の実力を発揮し出しており、決勝では台風の目となる可能性もある。

岡山はコース幅が狭く、ストレートが比較的短いなど抜き所の少ないコースだが、いずれにせよ予選で頭1つ抜け出ている横江が先行逃げ切りを図る展開が予想される。レースを単調にしないためにも、ライバル勢の奮起を期待したい。

[川岸 健二]

写真(上):横江竜司 (下):ラタパー・ヴィライロー

●MFJ SUPERBIKE EXpress執筆陣紹介●

[青木 淳] 『ライディングスポーツ』編集長。1982年から全日本の取材をしている。自らもレース参戦しているが、目標の全日本参戦はまだ先のことになりそう。鈴鹿8耐参戦経験もある47歳。

[佐藤 寿宏] 名前に「寿」があるため業界でのニックネームが「ことぶき」というめでたいフリーライター。全日本ロードレースは1994年の最終戦以来、ほぼ全戦取材している。

[川岸 健二] ロードレース専門誌「サイクルサウンズ編集部」に籍を置き、全日本ロードレース取材は今年で7年目。「取材は足で稼ぐ」をモットーに、今日もムダ足を踏んでいる。

中上貴晶が勝ってチャンピオンを決めるか!? 富沢祥也が一矢を報いるか!?



今回も公式予選は、45分1セッションで争われた。タイトルに王手をかけている中上貴晶が、セッション中盤に1分36秒453をマーク。このタイムを上回る者は現れず、今シーズン3度目のポールポジションを獲得した。

「金曜は、なかなかセッティングを詰めるころまでいかなかったしタイムも出なかった。予選では、金曜よりタイムを上げることができたけど、満足はしていない。コースレコードを出したかったけれど、出足でつまずいてしまった。1セッションだけだし、時間も限られている中で、

いい状態にバイクを仕上げられなかったのが問題ですね。優勝でチャンピオンを決めたいけれど、意識せず、いつもと同じ気持ちで臨んでいる」と中上。

セカンドグリッドにつけた富沢祥也は、セッション中盤にアトウッドカーブで他車とラインが交錯して転倒。4周目にマークした1分36秒515がベストタイムとなったが、不完全燃焼の予選となってしまった。

「転倒したけれどバイクもまとまってきたし、何とか予選タイムで周回できれば離されずについていけるはず。今回こそ勝ちたい」と富沢。

井手敏男は、最後のアタックでベストをマークするが、2台のスリップストリームを使っていため、チェッカーフラッグが確認できずダブルチェッカーをしてしまいタイムを抹消された。しかし、12周目にマークした1分36秒767で3番手につけた。井手にとっては、スタート、そしてオープニングラップをいかに速く走れるかによって勝機が見えてくる。

また、岩田裕臣、浪平伊織、山田亮太が健闘し、好タイムをマーク。そろそろ初表彰台を狙いたいところ。岡山と言えば菊池寛幸だが、予選は、マシントラブルに見舞われ22番手に沈んでしまった。マシンの状態がよくならば、激しい追い上げを見せてくれるはずだ。

シリーズも終盤。今回は、中上、富沢というティーンズライダーを中心に展開されることになりそうだ。

[佐藤 寿宏]

写真(上):中上 貴晶 (下):富沢 祥也

SUPERBIKE SUPPORTERS



あなたの観戦スタイルにあった
4種類のパスで、
今年も国内最高峰の
ロードレースをお楽しみください。



詳しくは、
SUPERBIKE SUPPORTERS事務局
TEL : 0285-45-8465 (AM11:00~PM7:00 月曜定休)
またはオフィシャルファンサイト superbike.jp まで

EVENT INFORMATION

ライダートークライブ・優勝ライダーサンクスメッセージ

恒例のライダートークライブ。1回目はJSB1000ライダー、2回目はGP125クラスが登場。そして全レース終了後のサンクスメッセージでは、優勝ライダーが登場して一言メッセージ&じゃんけん大会を開催。

- 場 所: イベントステージ
- 時 間: 11:35~12:05 JSB / 山口辰也、秋吉耕佑、柳川明、中須賀克行
14:00~14:20 GP125 / 中上貴晶、富沢祥也
16:30~17:00 優勝ライダーサンクスメッセージ

キャンペーンギャル オンステージ

- 場 所: イベントステージ
- 時 間: 1回目)9:00~9:40 2回目)15:15~15:40

ピットウォーク・エクストリームバイク

ライダー、マシンやキャンペーンとも間近で触れ合うことのできるピットウォーク。コース上ではエクストリームバイクやキッズパレードも開催。

- 場 所: レーシングコース・ピット周辺
- 時 間: 13:05~13:50
- ピットウォークチケット¥1,500~ (総合インフォメーションで販売)

サーキットクルージング(無料)

全日本恒例のレーシングコース体験走行(先導付き)を開催。

- 受 付: ミニコース イベント広場内「総合インフォメーション」横バイクブース(受付は16:00まで)
- 時 間: 16:40~ (Cパドック集合)

※イベント内容・時間・出演ライダー等は変更されることがあります。
※詳細につきましては、イベント広場総合案内所にてご確認ください。

GP-MONO



今シーズンから全日本格式となったGP-MONO。4ストローク250cc単気筒エンジンをGP125マシンのフレームに搭載するという、ローコスト、イコールドコンディションをコンセプトとした、入門者でも取り扱ひやすく適度なパフォーマンスを持ったマシンによって争われる。

20分間で争われた公式予選では、セッション開始早々に#51山下祐が1分41秒955と唯一42秒を切るタイムでトップに立った。2番手で降も音藤一輝、森隆嘉、赤間清、平石理らがタイムを塗り替えるながら順位を入れ替えるが、結局山下のタイムは更新されることなくセッションは終了。開幕戦もでき、筑波に続いて今季3度目のポールポジションを獲得した。

現在山下はランキングトップで、初代全日本GP-MONOチャンピオンに最も近い位置にいる。決勝レース次第でタイトル決定の可能性もあるだけに、その展開が注目される。

写真:ポールポジションの山下祐

公式予選結果 ●決勝スタート/10:00~(10周)

Pos	No.	Rider	BestTime	Team
1	51	山下 祐	1'41.955	ZBユビキツR.PLUSONE
2	99	平石 理	1'42.207	レーシングチーム ハニービー
3	7	音藤 一輝	1'42.275	ケッツトラストスキ
4	2	森 隆嘉	1'42.303	KRS&PLUS ONE
5	3	赤間 清	1'42.777	CLUB HARC-PRO.
6	11	岡田 義治	1'43.033	MRF&RH松島
7	36	岳 栄一	1'43.666	チームイズミ&テック☆桃組
8	55	吉田 光弘	1'44.127	Team Life・ドリーム
9	21	永田 正己	1'44.425	T'ws&ZIPBIKE
10	25	榊原 徹	1'45.283	ZIPBIKE豊橋ユビキツR
11	14	田中 敬秀	1'45.648	MRF&ブートレグブース
12	39	法月多嘉夫	1'45.651	MARS&OMEGA&ペアー
13	9	高橋 哲也	1'45.788	ウイニングラン
14	65	紫野 明治	1'46.378	ホットバンクUSA 番通の湯
15	155	吉島 正治	1'46.560	MRF&MPF&NPF&NTR
16	67	土井 隆司	1'46.662	チームライディングスポーツ
17	26	福岡 大吾	1'47.333	M・A・R・S・KDC
18	37	和田 明久	1'48.637	りんくす&GreenWood
19	68	丹後 明義	1'52.148	チームライディングスポーツ
23		江崎慶 学		計測出来ず ISプランニング☆プリミティブR

ミニバイクから世界GPまで
ロードレースのすべてがここにある

RIDING SPORT
毎月24日発売

2006年11月号<No.286>は好評発売中!

株式会社ニュース出版

EXCITING
ROADSPORTS
MAGAZINE
**CYCLE
SOUNDS**

月刊サイクルサウンズは
毎月24日発売

発行/株式会社ジック 発売/株式会社山海堂

2006 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦 スーパーバイクレース in 岡山
GP125 Class Starting Grid

●予選日:天候/晴れ 路面/ドライ ●決勝コースイン/10:45 スタート/11:00(18周)

1	1'36.453 73 中上 貴晶 RS	2	1'36.515 48 富沢 祥也 RS	3	1'36.767 3 井手 敏男 TZ	4	1'37.094 14 岩田 裕臣 RS
5	1'37.563 52 浪井 伊織 RS	6	1'37.695 8 山田 亮太 RS	7	1'37.747 5 竹内 吉弘 RS	8	1'37.795 2 仲城 英幸 RS
9	1'37.875 36 徳留 真紀 RS	10	1'37.906 12 井上 誠 RS	11	1'38.015 19 中村 貴紀 RS	12	1'38.047 15 花房 一樹 RS
13	1'38.069 25 山内 隆史 NER	14	1'38.171 18 東 幸寛 RS	15	1'38.415 45 大西 克尚 RS	16	1'38.416 96 三浦 篤朗 RS
17	1'38.428 61 笠井 悠太 TZ	18	1'38.431 17 大石 義次 TZ	19	1'38.463 7 山本 武宏 RS	20	1'38.470 21 古市 右京 RS
21	1'38.603 67 清水 敏弘 RS	22	1'38.615 1 菊池 寛幸 RS	23	1'38.697 92 葛原 稔永 RS	24	1'38.707 38 天野 邦博 RS
25	1'38.956 99 ラボカ・ウイロー RS	26	1'39.021 84 橋本 斉志 RS	27	1'39.062 37 長谷川 稔 RS	28	1'39.167 23 船田 英生 RS
29	1'39.309 31 加藤 雄資 RS	30	1'39.321 28 國吉 基寛 RS	31	1'39.340 72 水野那由太 TZ	32	1'39.350 77 今中 満 RS
33	1'39.881 75 福島 宏幸 RS	34	1'40.064 46 山本 剛大 RS	35	1'40.207 44 小川 将文 RS	36	1'40.326 50 岩田 吉正 RS
37	1'40.784 43 岸田 慶一 RS	38	1'40.876 85 高橋 剛 RS	39	1'41.032 51 関野 洋樹 RS	40	1'41.149 49 川瀬啓一郎 RS

2006 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦 スーパーバイクレース in 岡山
ST600 Class Starting Grid

●予選日:天候/晴れ 路面/ドライ ●決勝コースイン/11:55 スタート/12:10(18周)

1	1'33.544 39 酒井 大作 ZX-6RR	2	1'33.929 76 渡辺 篤 GSX-R600K6	3	1'33.971 57 新垣 敏之 YZF-R6	4	1'34.257 9 大崎 誠之 YZF-R6
5	1'34.287 1 安田 毅史 CBR600RR	6	1'34.303 5 寺本 幸司 GSX-R600	7	1'34.495 3 辻村 猛 CBR600RR	8	1'34.645 37 佐藤 裕児 YZF-R6
9	1'34.892 99 野田 弘樹 CBR600RR	10	1'34.984 90 大石 正彦 YZF-R6	11	1'35.084 12 宮崎 敦 YZF-R6	12	1'35.103 11 奥野 正雄 YZF-R6
13	1'35.110 53 須貝 義行 DUCATI749R	14	1'35.218 81 亀谷 長純 CBR600RR	15	1'35.353 31 児玉 勇大 CBR600RR	16	1'35.398 16 生形 秀之 GSX-R600K6
17	1'35.417 7 高橋 英倫 CBR600RR	18	1'35.439 13 稲垣 誠 CBR600RR	19	1'35.466 6 沼田 憲保 YZF-R6	20	1'35.612 18 東浦 正周 YZF-R6
21	1'35.638 70 中山真太郎 CBR600RR	22	1'35.669 22 山本 琢磨 ZX-6RR	23	1'35.808 64 和田憲史郎 GSX-R600K6	24	1'35.833 98 乃村 康友 CBR600RR
25	1'35.910 66 木本 康隆 CBR600RR	26	1'35.916 34 岩田 悟 CBR600RR	27	1'35.957 45 光元康次郎 CBR600RR	28	1'36.019 30 津田 拓也 CBR600RR
29	1'36.019 75 黒川 武彦 CBR600RR	30	1'36.047 23 藤下 和衛 CBR600RR	31	1'36.066 88 須磨 貞仁 CBR600RR	32	1'36.120 92 國川 浩道 YZF-R6
33	1'36.137 73 森 新 CBR600RR	34	1'36.140 32 的場 浩晃 CBR600RR	35	1'36.162 44 安達 勝紀 CBR600RR	36	1'36.166 51 村田 丈 CBR600RR
37	1'36.188 87 岡崎 忠敬 YZF-R6	38	1'36.290 71 武山 祐介 YZF-R6	39	1'36.312 78 鈴木 慎吾 CBR600RR	40	1'36.415 33 波多野祐樹 GSX-R600K6

2006 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦 スーパーバイクレース in 岡山
JSB1000 Class Starting Grid

●予選日:天候/晴れ 路面/ドライ ●決勝コースイン/14:05 スタート/14:20(25周)

1	1'29.631 76 渡辺 篤 GSX-R1000K6	2	1'29.778 11 秋吉 耕佑 GSX-R1000K6	3	1'29.841 12 中須賀克行 YZF-R1	4	1'29.957 1 伊藤 真一 CBR1000RR
5	1'30.220 87 柳川 明 ZX-10R	6	1'30.457 2 山口 辰也 CBR1000RR	7	1'30.626 5 辻村 猛 CBR1000RR	8	1'30.712 9 亀谷 長純 CBR1000RR
9	1'30.781 83 森脇 尚護 CBR1000RR	10	1'30.917 48 手島 雄介 CBR1000RR	11	1'31.545 55 出口 修 CBR1000RR	12	1'31.564 54 徳留 和樹 CBR1000RR
13	1'32.162 72 アレックス・キャミア CBR1000RR	14	1'32.301 64 川上 智彦 CBR1000RR	15	1'32.383 47 本田 晃司 GSX-R1000	16	1'32.463 13 須貝 義行 DUCATI999R
17	1'32.518 14 今野 由寛 GSX-R1000	18	1'32.776 28 東村伊佐三 ZX-10R	19	1'33.151 52 柚木 伸介 CBR1000RR	20	1'33.436 41 野寄 真二 CBR1000RR
21	1'33.608 15 川瀬 裕昌 GSX-R1000	22	1'33.615 29 荻田 庄平 ZX-10R	23	1'33.711 78 鈴木 慎吾 CBR1000RR	24	1'34.107 19 畠山 泰昌 CBR1000RR
25	1'34.120 31 森井 威綱 CBR1000RR	26	1'34.127 33 宇佐見保弘 YZF-R1	27	1'34.364 59 山戸 直樹 ZX-10R	28	1'34.995 34 竹見 升吾 YZF-R1
29	1'35.049 96 吉田 真悟 CBR1000RR	30	1'35.071 36 田村 武士 GSX-R1000K5	31	1'35.407 30 樋口 耕太 GSX-R1000K5	32	1'35.543 903 中井 恒和 YZF-R1
33	1'35.925 38 原田 洋孝 ZX-10R	34	1'36.012 877 佐藤 大輔 YZF-R1	35	1'36.098 35 今津比呂志 ZX-10R	36	1'36.098 62 向井 伸之 GSX-R1000K5
37	1'36.194 32 柳生 和男 YZF-R1	38	1'36.652 111 藤本 悦生 GSX-R1000	39	1'36.716 43 横張 好弘 YZF-R1	40	1'36.922 51 樋口 幸博 YZF-R1

2006 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦 スーパーバイクレース in 岡山
GP250 Class Starting Grid

●予選日:天候/晴れ 路面/ドライ ●決勝コースイン/15:25 スタート/15:40(20周)

1	1'32.267 2 横江 竜司 TZ	2	1'32.876 7 ラボカ・ウイロー RS	3	1'32.940 4 及川 誠人 TZ	4	1'33.058 41 宇井 陽一 TZ
5	1'33.148 38 濱本 裕基 TZ	6	1'33.344 56 山崎 郡 TZ	7	1'33.663 6 秋谷 守 TZ	8	1'33.804 55 高橋 江紀 RS
9	1'33.833 72 高橋 巧 RBB	10	1'34.045 12 櫻井 大幸 RS	11	1'34.242 51 泉本 真宏 TZ	12	1'34.518 11 石井 春希 TZ
13	1'34.546 44 秋田 貴志 TZ	14	1'34.677 13 及川 玲 TZ	15	1'34.684 76 伊藤 勇樹 TZ	16	1'34.875 810 大西 明 TZ
17	1'34.991 66 小林 龍太 RBB	18	1'35.087 15 豊田 浩史 TZ	19	1'35.606 24 磯谷 晋一 TZ	20	1'35.619 93 遠藤 卓実 TZ
21	1'35.631 16 藤田 浩司 TZ	22	1'35.796 46 瀬崎 恭夫 TZ	23	1'36.265 33 辻村 憲一 TZ	24	1'36.335 34 小口 理 TZ
25	1'36.345 19 岩井 耕治 TZ	26	1'36.508 52 福田 京太 TZ	27	1'37.958 77 高井 正福 TZ	28	1'39.881 30 柴原 誠 TZ
29	1'40.451 78 風呂本 真 TZ	30	2'12.970 27 高田 明 TZ				